

米国 貿易赤字の縮小により10-12月期の純輸出はプラス寄与に

(06年10月貿易統計)

06年12月12日(火)

～貿易赤字は対OPECで減少も対中国が過去最大～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [sei@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:sei@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

## 貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入		財 Goods	
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods		
06/04	▲634.26	▲695.68	+61.42	+0.1	(+10.2)	▲0.6	+0.8	(+10.6)	+0.9
06/05	▲651.68	▲710.17	+58.49	+2.2	(+12.6)	+2.7	+2.4	(+13.4)	+2.4
06/06	▲645.19	▲700.13	+54.94	+2.3	(+14.5)	+3.4	+1.1	(+13.0)	+1.2
06/07	▲675.36	▲734.50	+59.14	▲1.1	(+12.6)	▲1.7	+0.9	(+13.9)	+1.2
06/08	▲685.23	▲748.68	+63.45	+2.3	(+13.7)	+3.0	+2.0	(+14.7)	+2.5
06/09	▲642.59	▲702.94	+60.35	+0.5	(+16.0)	+0.6	▲1.9	(+9.5)	▲2.5
06/10	▲588.68	▲651.00	+62.32	+0.2	(+13.8)	▲0.2	▲2.7	(+4.2)	▲3.4

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
		産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財
06/05	+2.8	+3.2	+2.3	▲1.3	+5.1	+2.4	+7.9	+0.5	▲2.4	+0.6
06/06	+3.3	+3.3	+2.7	+4.9	+1.8	+1.2	▲1.3	▲0.1	+6.2	+3.2
06/07	▲1.5	▲2.6	▲3.8	+7.2	+1.2	+1.2	+4.1	+2.1	▲5.7	+0.3
06/08	+3.1	+2.3	+3.8	▲1.4	+2.1	+2.5	+3.1	+2.7	+2.2	+1.5
06/09	+0.7	+4.2	+2.0	▲7.1	▲3.2	▲2.4	▲6.4	▲1.5	▲1.7	+1.7
06/10	▲0.1	▲2.1	+0.1	▲0.7	+3.6	▲3.4	▲10.0	▲1.1	▲1.6	+0.6

(注) 季調済前月比伸び率。

\*1: Industrial supplies and materials

\*2: Capital goods, except automobiles

\*3: Automobiles vehicles, parts and engines

\*4: Consumer goods, except automobiles

	輸出						輸入					
		カナダ	中南米	EU	太平洋工業国			カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	
						日本						日本
06/05	+15.5	+11.9	+15.8	+14.5	+17.7	+15.9	+16.6	+12.1	+17.9	+9.3	+13.6	+11.1
06/06	+16.2	+11.7	+16.4	+23.2	+15.5	+7.1	+13.4	+11.1	+16.0	+7.0	+9.2	+3.1
06/07	+13.5	+12.9	+16.1	+11.3	+13.8	+3.9	+15.4	+6.9	+18.9	+14.4	+13.3	+10.1
06/08	+15.5	+11.1	+15.1	+21.4	+10.4	+3.1	+14.5	+5.2	+19.4	+11.9	+14.6	+9.7
06/09	+18.9	+4.8	+16.4	+25.1	+21.9	+15.4	+8.4	▲3.9	+11.0	+2.0	+13.5	+9.3
06/10	+16.2	+6.8	+20.2	+18.5	+13.4	+12.4	+5.3	▲8.3	+7.9	+2.0	+14.0	+12.8

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

**588.68億ドルと2005年8月以来の500億ドル台に減少**

06年10月の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、588.68億ドルと市場コンセンサスの▲630億ドルを大幅に下回った(前月比▲8.4%)。サービス収支の黒字額が拡大し、財収支の赤字額が大幅に縮小した。

輸出は、処方薬、コンピューター、石油掘削機等の拡大により前月比+0.2%と3ヵ月連続の増加となった。一方、輸入は産業資材の減少幅拡大等により同▲2.7%と2ヵ月連続で縮小した。財別では、消費財は、ゲーム、デジタル音響機器等の増加を映じて拡大した。しかし、自動車は減少した。資本財は航空機、コンピューター

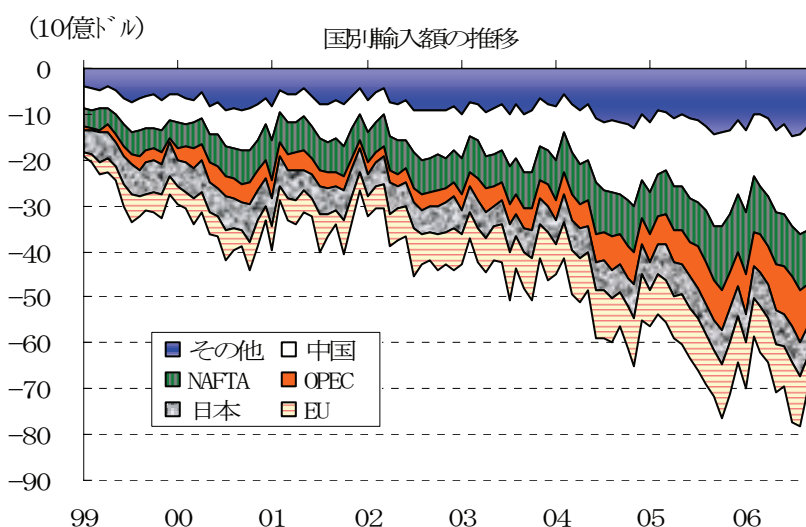
部品等の減少により縮小した。産業資材はエネルギー関連の減少によって押し下げられた。特に、原油輸入は輸入価格が1バレル=55.47ドルと下落したうえ、輸入量が3億1175.8万バレルと前月から減少したため前月比▲17.9%と大幅に縮小した。

**10~12月期の純輸出は再びプラス寄与に**

10月の実質財サービス貿易赤字は7~9月期から縮小した。今後、11、12月に小幅増加すると予想されるが、それでも10~12月期に純輸出はGDPを+0.8%程度押し上げる可能性がある。

**対中赤字額が過去最大**

地域別収支では、対中国が▲244億ドル（前年比+19.2%）と前月から赤字額が拡大し、過去最大の赤字額となった（貿易赤字全体の33.8%に拡大）。対欧州は▲95億ドル（同▲20.3%）、対N I E Sが▲16億ドル（同+3.8%）対日が▲83億ドル（同+13.0%）と赤字額が増加した。一方、対O P E Cは▲75億ドル（同▲17.7%）、対N A F T Aが▲106億ドル（同▲22.9%）と大幅に赤字を減らした。

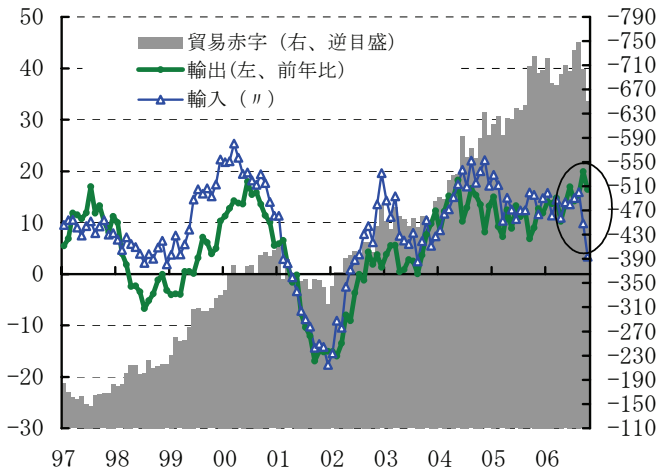


**貿易赤字は原油価格の上昇により11、12月に小幅増加する公算**

今後も、輸出はドル安効果、海外景気の拡大によって拡大基調を維持すると予想される。一方、輸入は原油価格の再上昇によってエネルギー輸入の増加が見込まれることに加え、米国内の需要が堅調さを維持すると予想されることから、再び増加に転じよう。この結果、11、12月の貿易赤字は小幅拡大すると見込まれる。

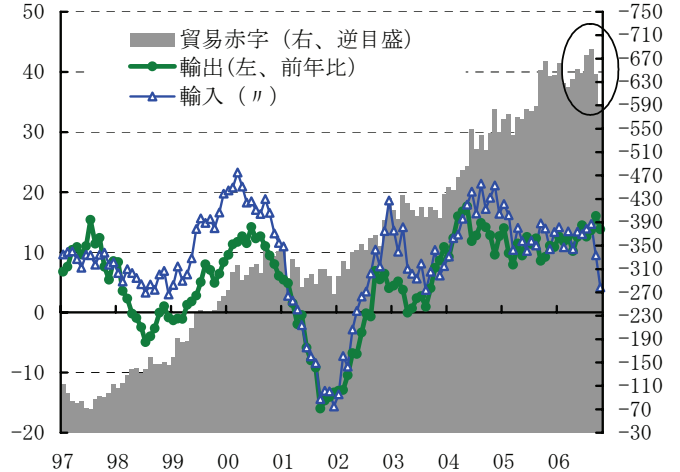
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(%) 米国貿易動向 (財、BOPベース) (億ドル)



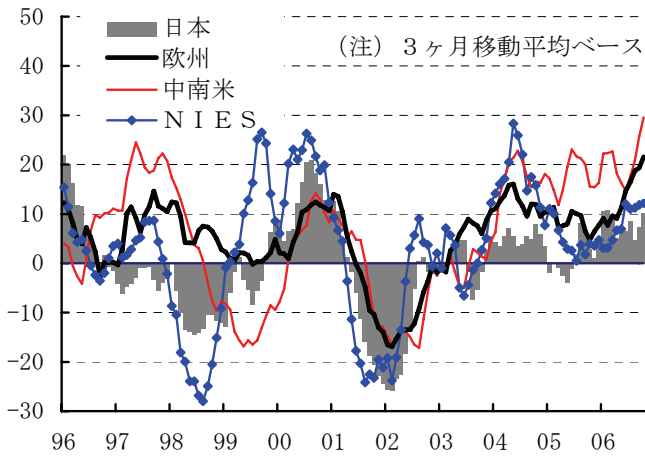
(出所) 米商務省

(%) 米国貿易動向 (億ドル)



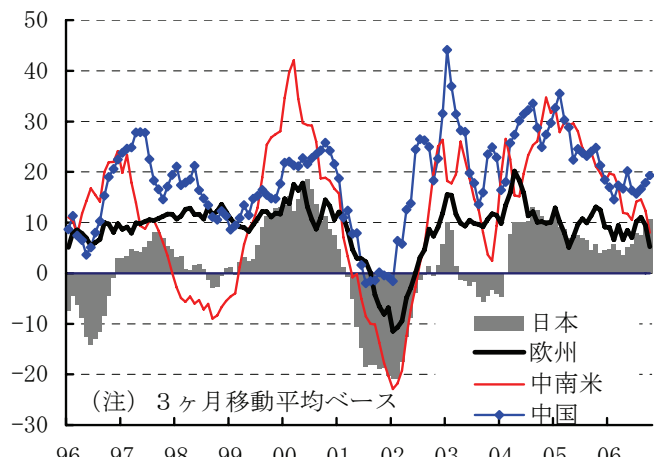
(出所) 米商務省

(%) 地域別輸出 (前年比)



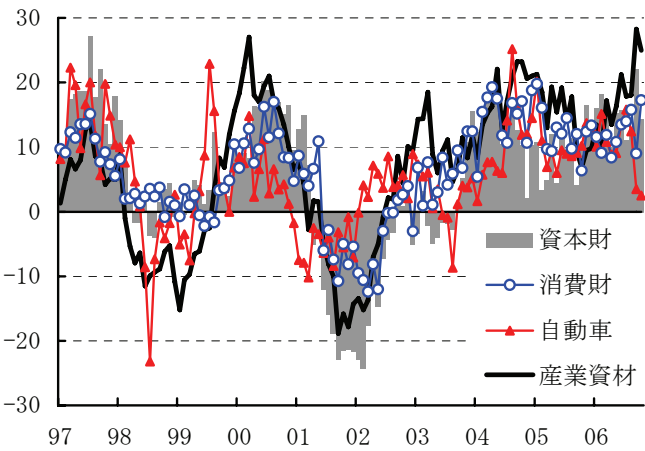
(出所) 米商務省

(%) 地域別輸入 (前年比)



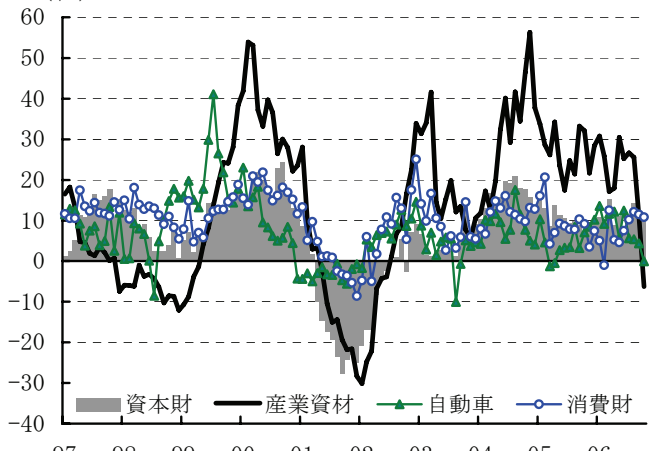
(出所) 米商務省

(%) 財別輸出の推移 (前年比)



(出所) 米商務省

(%) 財別輸入の推移 (前年比)



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。